

プレスリリース [令和3年3月18日]

(計 1 枚)

地域の高齢者の孤立防止や健康増進を目的とした「地域おたっしゅサークル」(通いの場)のアンケート調査とデータ分析により、サークル活動の有効性について研究した結果を発表します。

地域が主体的かつ自主的に運営する市内76か所ある高齢者サークルの有効性を、一般社団法人みんなの認知症情報学会と連携して、調査・研究しました。

今後は、この研究結果をもとにさらなる効果的なプログラムの開発などを行い、フレイルや要介護状態の予防につなげます。また、その予防効果により、健康寿命が延伸され、社会保障費の削減にもつながることを目的としています。

つきましては、下記のとおり研究結果を市民にフィードバックする運びとなりましたので、ぜひ、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時：第1回 令和3年3月22日(月) 13時30分～15時00分

第2回 令和3年3月23日(火) 10時00分～11時30分

場 所：加賀市文化会館 201・202 会議室

(〒922-0243 石川県加賀市山代温泉2丁目68)

演 題：地域おたっしゅサークルと健康増進について

～アンケート結果などを踏まえて～

講 師：静岡大学創造科学技術大学院

特任教授 小林 美亜 氏

参加予定：市内地域おたっしゅサークル(通いの場)リーダー

約50名(1回あたり)

※ 本調査研究は、加賀市と国立大学法人静岡大学、一般社団法人みんなの認知症情報学会が締結した「自立共生支援 AI を活用した健康長寿のまちづくりに関する連携協定」に基づき実施したものです。

本件へのお問合せ先
加賀市健康福祉部長寿課地域包括支援センター
担当：橋本 TEL 0761-72-8186

